

## 2 家庭生活・家庭教育

### (1) しつけについて

#### ア. あいさつや言葉づかいなど (小学生、中学生、高校生)

あなたは、家の人から次のことについて言われることがありますか。それぞれ1～3の中から1つを選んで番号に○をつけてください。

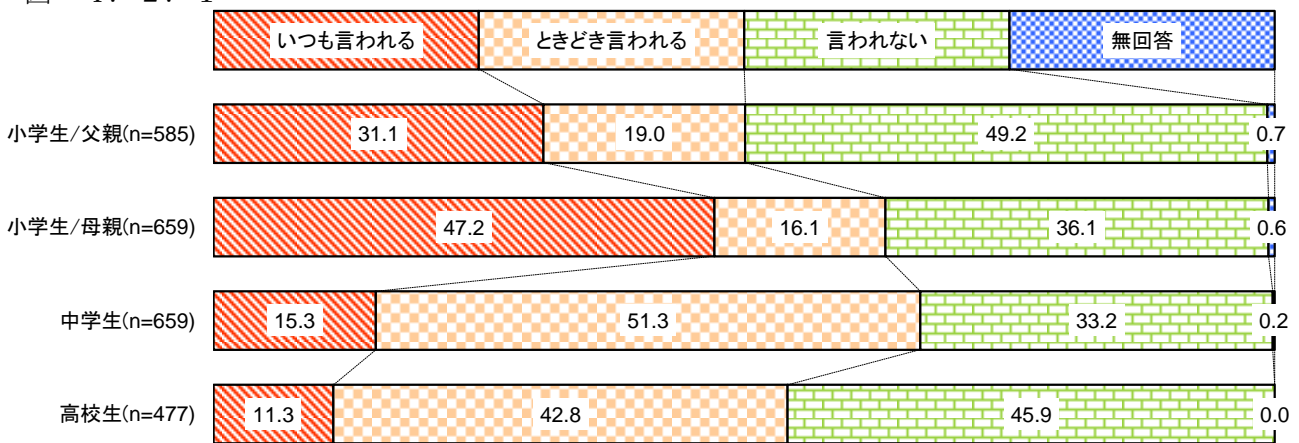
#### あいさつや言葉づかいなど

1 いつも言われる                      2 ときどき言われる                      3 言われない

※「小学生」には、父親と母親を分けて聴取

「小学生」の選択肢は、「1 はい」「2 いいえ」「3 どちらともいえない」

図 4. 2. 1 (%)

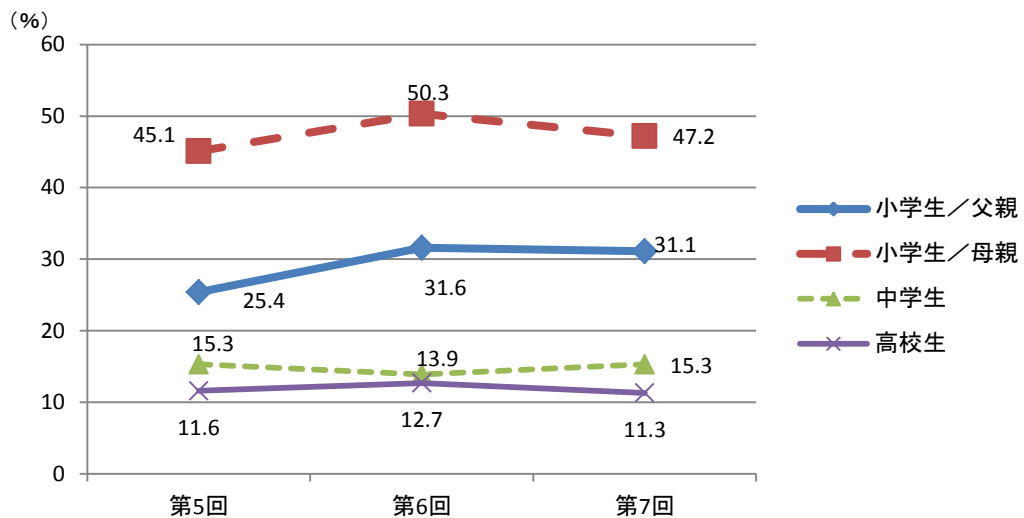


小学生、中学生、高校生に、あいさつや言葉づかいに関するしつけについて家の人からうるさく言われるかを聞いたところ、小学生の31.1%が父親から、47.2%が母親から「いつも言われる」と回答しています。中学生では15.3%、高校生では11.3%が「いつも言われる」と回答しており、学年が上がるにつれ割合が低下しています。

「いつも言われる」「ときどき言われる」と回答した人の割合は、小学生の父親からでは計50.1%、小学生の母親からでは計63.3%、中学生では計66.6%、高校生では計54.1%となっています。

#### 過年度調査との比較

図 4. 2. 2 「いつも言われる」

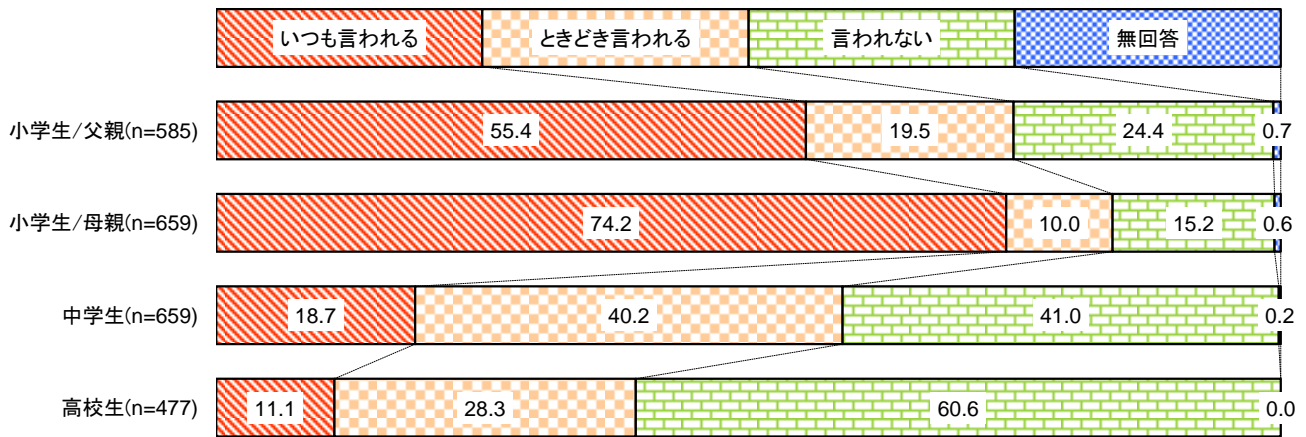


第5回、第6回調査と比較すると、「いつも言われる」の割合はほぼ同水準で推移しています。

イ. 人の集まる場所で迷惑をかけないようにする（小学生、中学生、高校生）

あなたは、家の人から次のことについて言われることがありますか。それぞれ1～3の中から1つを選んで番号に○をつけてください。  
電車や図書館など人の集まる場所で、人に迷惑をかけないようにすること  
 1 いつも言われる                      2 ときどき言われる                      3 言われない  
 ※「小学生」には、父親と母親を分けて聴取  
 「小学生」の選択肢は、「1 はい」「2 いいえ」「3 どちらともいえない」

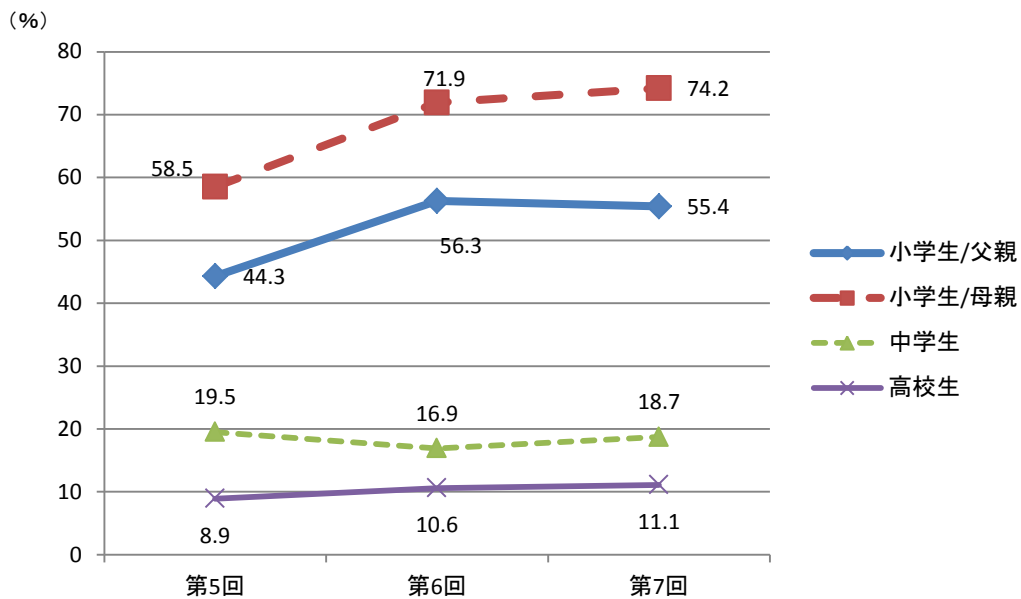
図 4. 2. 3 (%)



小学生、中学生、高校生に、人の集まる場所で迷惑をかけないように言われるかを聞いたところ、小学生では父親から55.4%、母親から74.2%が「いつも言われる」と回答しています。「いつも言われる」と回答した割合は学年が上がるにつれ低下し、中学生では18.7%、高校生では11.1%にとどまっています。

過年度調査との比較

図 4. 2. 4 「いつも言われる」

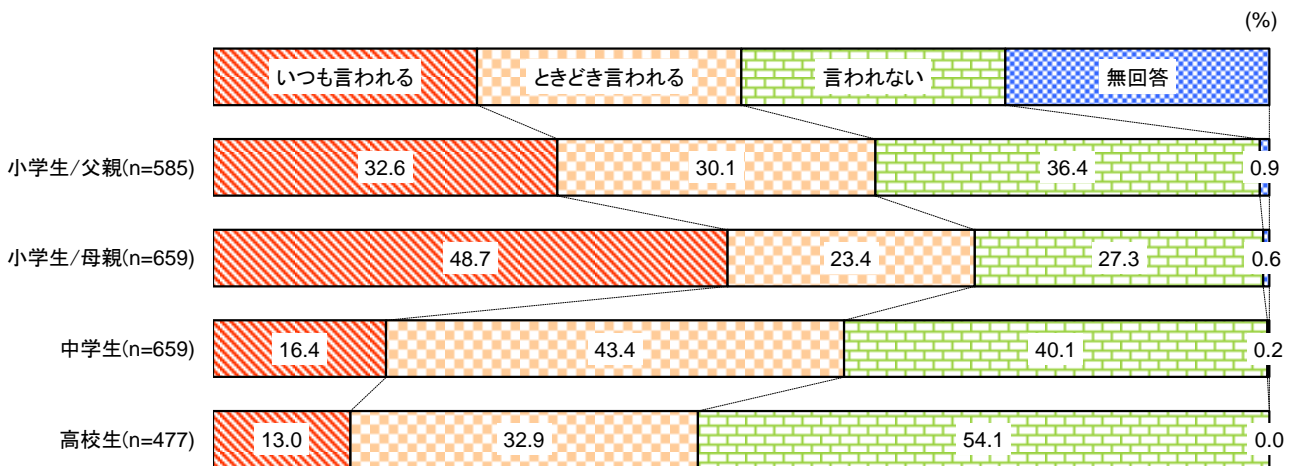


第5回、第6回調査と比較すると、「いつも言われる」の割合は、小学生の父親からでは、第6回調査の56.3%から0.9ポイント減少しています。小学生の母親からでは、第6回調査の71.9%から2.3ポイント増加しています。

ウ. 老人や身体の不自由な人をいたわる (小学生、中学生、高校生)

あなたは、家の人から次のことについて言われることがありますか。それぞれ1～3の中から1つを選んで番号に○をつけてください。  
**老人や身体の不自由な人をいたわること**  
 1 いつも言われる                      2 ときどき言われる                      3 言われない  
 ※「小学生」には、父親と母親を分けて聴取  
 「小学生」の選択肢は、「1 はい」「2 いいえ」「3 どちらともいえない」

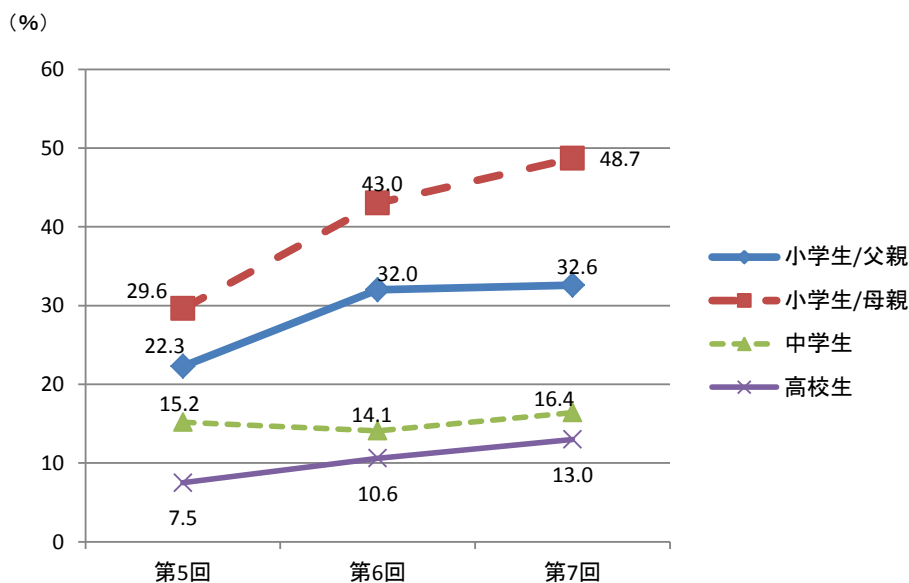
図 4. 2. 5



小学生、中学生、高校生に、老人や身体の不自由な人をいたわることについて言われることがあるか聞いたところ、小学生では、父親からの32.6%、母親からの48.7%、中学生では16.4%、高校生では13.0%が「いつも言われる」と回答しています。

過年度調査との比較

図 4. 2. 6 「いつも言われる」

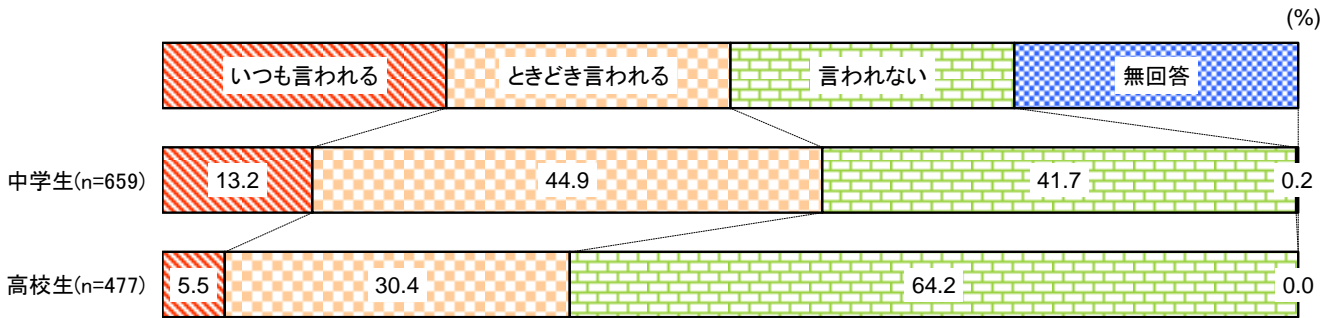


第5回、第6回調査と比較すると、小学生では、父親から、母親からともに「いつも言われる」の割合が増加傾向にあります。特に母親からでは、第5回調査の29.6%から今回の48.7%へと、19.1ポイント増加しています。

エ. 服装や頭髪など（中学生、高校生）

あなたは、家の人から次のことについて言われることがありますか。それぞれ1～3の中から1つを選んで番号に○をつけてください。  
**服装や頭髪など**  
 1 いつも言われる                      2 ときどき言われる                      3 言われない

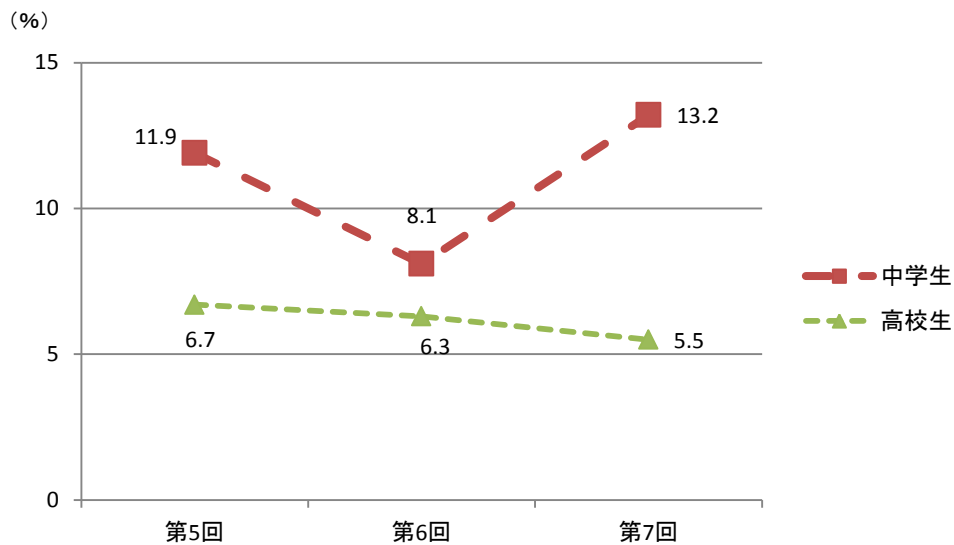
図 4. 2. 7



中学生、高校生に、服装や頭髪について言われるか聞いたところ、中学生の13.2%、高校生の5.5%が「いつも言われる」と回答しています。「いつも言われる」「ときどき言われる」を合計した割合では、中学生が58.1%、高校生が35.9%となっています。

過年度調査との比較

図 4. 2. 8 「いつも言われる」



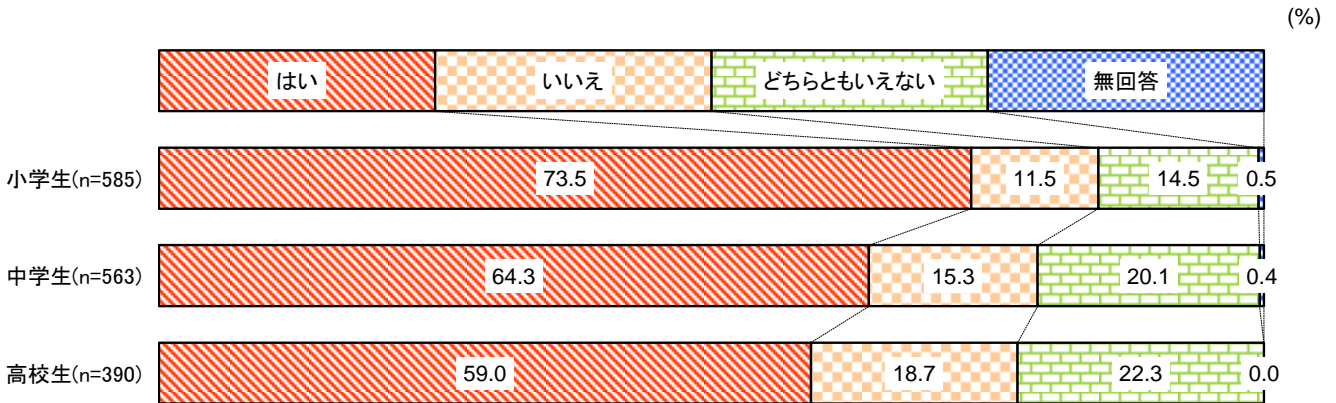
第5回、第6回調査と比較すると、「いつも言われる」と回答した人の割合は、中学生では第6回調査の8.1%から今回の13.2%へと5.1ポイント増加しています。高校生では、6%前後とほぼ同水準で推移しています。

(2) 父親・母親との関係

ア. 父親との会話 (小学生、中学生、高校生)

あなたは、お父さんとよく話をしますか。  
 1 はい                      2 いいえ                      3 どちらともいえない

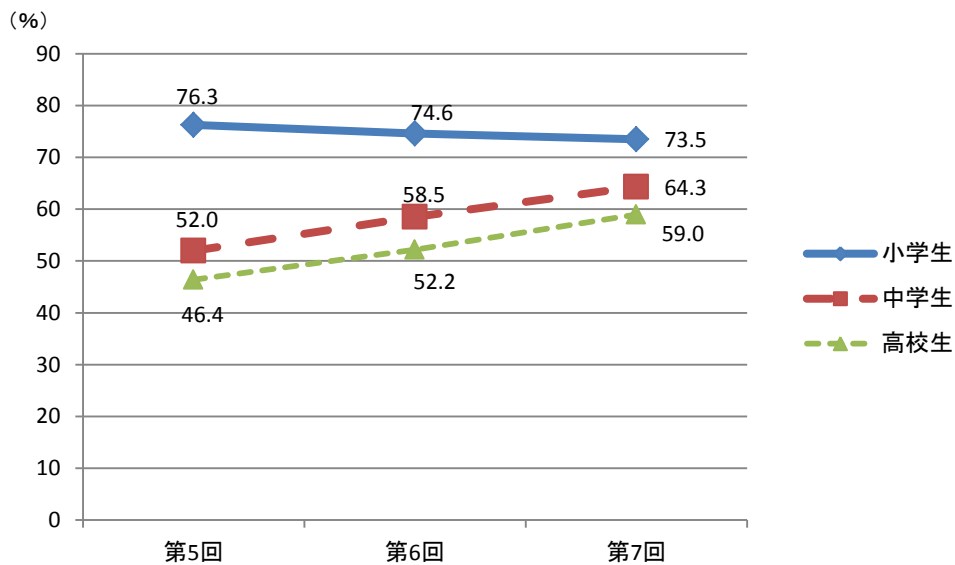
図 4. 2. 9



小学生、中学生、高校生に、父親とよく話をするかについて聞いたところ、「はい」の割合は、小学生で 73.5%、中学生で 64.3%、高校生で 59.0%となっており、学年が上がるにつれて「はい」の割合が減少し、「いいえ」「どちらともいえない」が増加しています。

過年度調査との比較

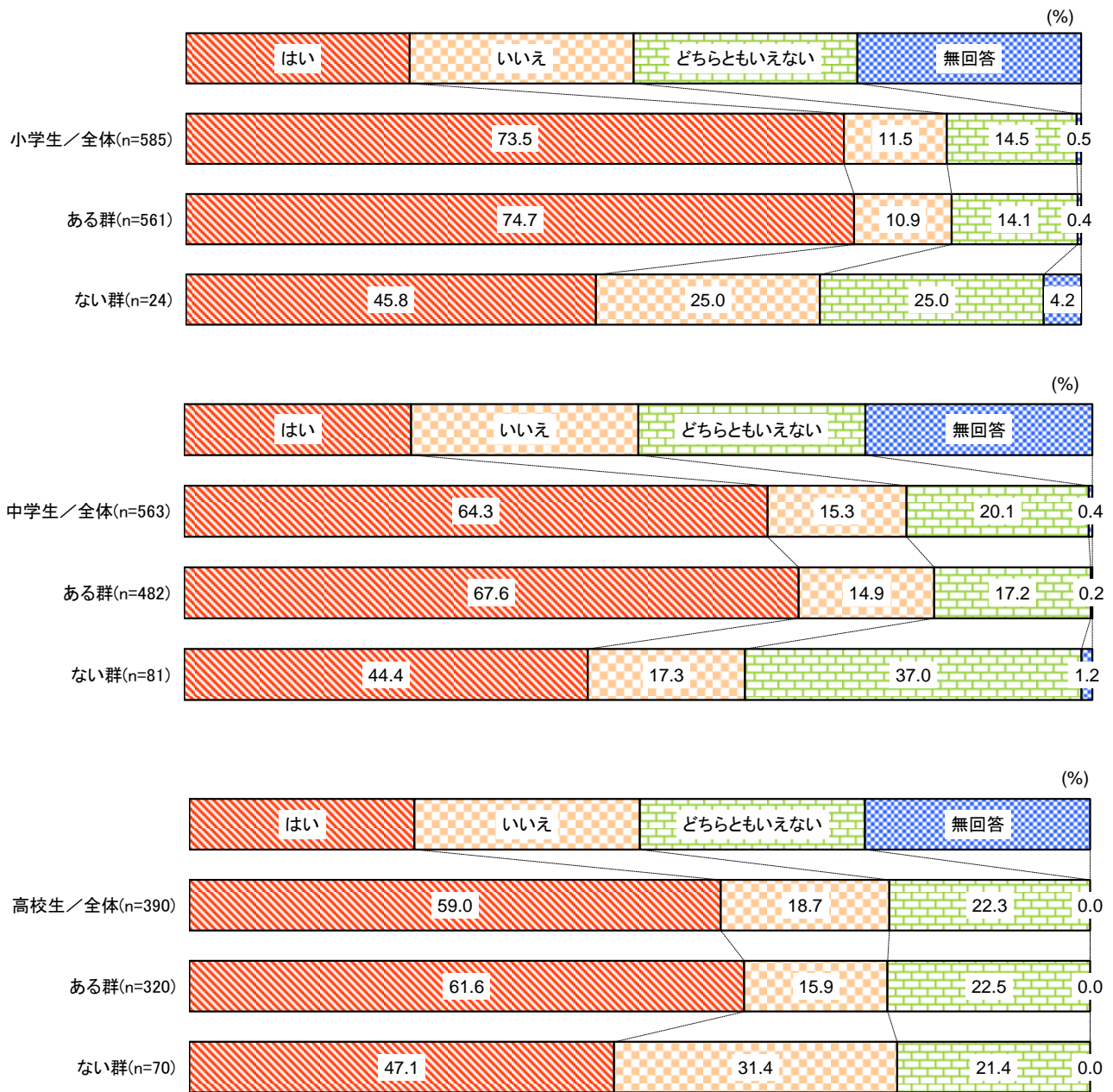
図 4. 2. 10 「はい」



第5回、第6回調査と比較してみると、小学生では「はい」と回答した割合は、第5回調査の 76.3%から、今回調査の 73.5%へと 2.8 ポイント減少しています。中学生では、第5回調査の 52.0%から、今回調査の 64.3%へと 12.3 ポイント増加し、高校生では第5回調査の 46.4%から、今回調査の 59.0%へと、12.6 ポイント増加しています。

得意なものや自信のあるものとの関係

図 4. 2. 1 1



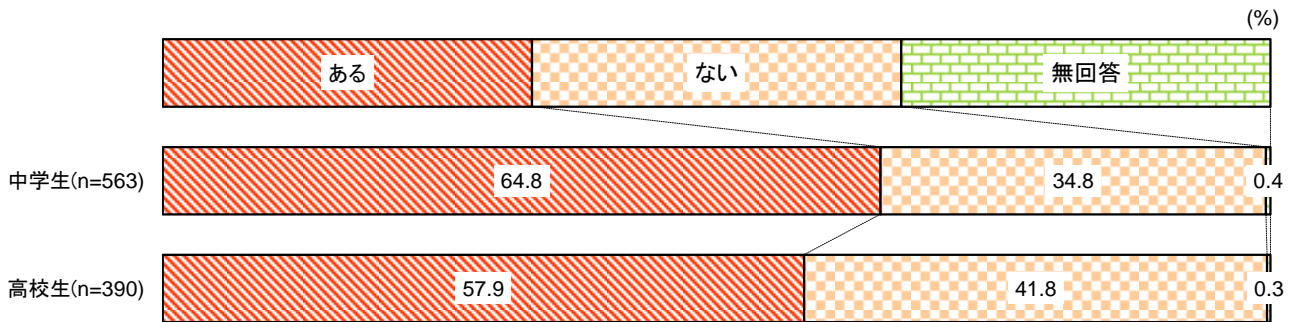
小学生、中学生、高校生の各年代において、「得意なものや自信のあるもの」が「ある群」は、「ない群」よりも、「はい」と回答した人の割合が高く、「いいえ」と回答した人の割合が低くなっています。

特に、小学生では「ある群」は、「はい」が74.7%に対し、「ない群」は「はい」が45.8%にとどまっています。高校生では、「ある群」は「いいえ」が15.9%に対し、「ない群」は「いいえ」が31.4%となっています。

イ. 父親との共通の話題や趣味（中学生、高校生）

あなたは、お父さんとの間に共通の話題や趣味がありますか。  
 1 ある                      2 ない

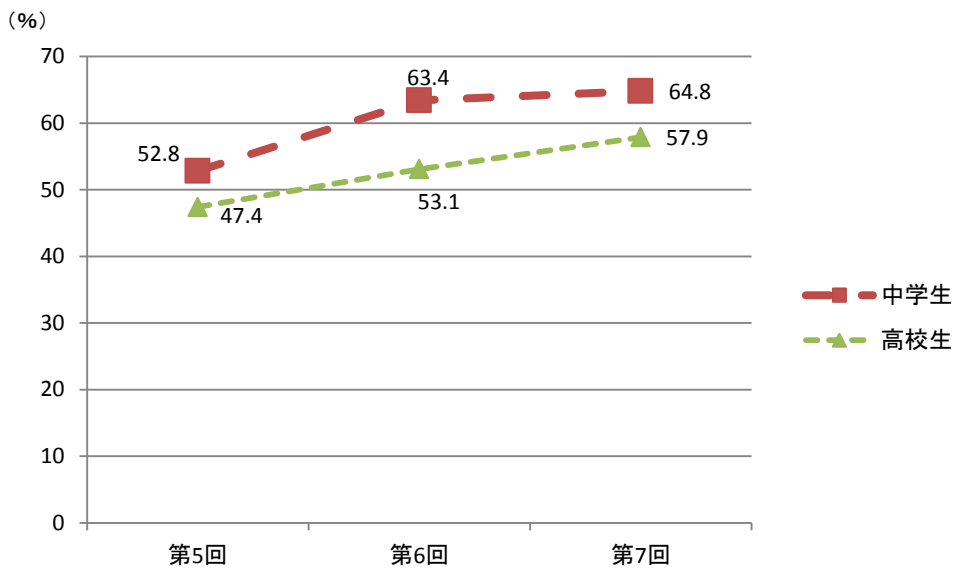
図 4. 2. 1 2



中学生、高校生に、父親と共通の話題や趣味があるかを聞いたところ、中学生の 64.8%、高校生の 57.9%が「ある」と回答しています。

過年度調査との比較

図 4. 2. 1 3 「ある」

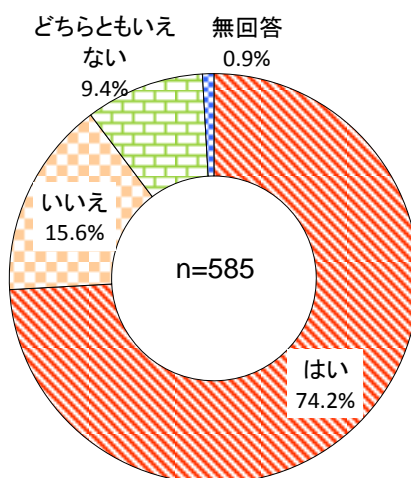


第5回、第6回調査と比較してみると、「ある」と回答した割合は、中学生では、第5回調査の 52.8%から今回調査の 64.8%へと 12 ポイント増加し、高校生でも、第5回調査の 47.4%から今回調査の 57.9%へと 10.5 ポイント増加しています。

ウ. 父親について/おこるとこわい (小学生)

おこるとこわい。		
1 はい	2 いいえ	3 どちらともいえない

図 4. 2. 1 4



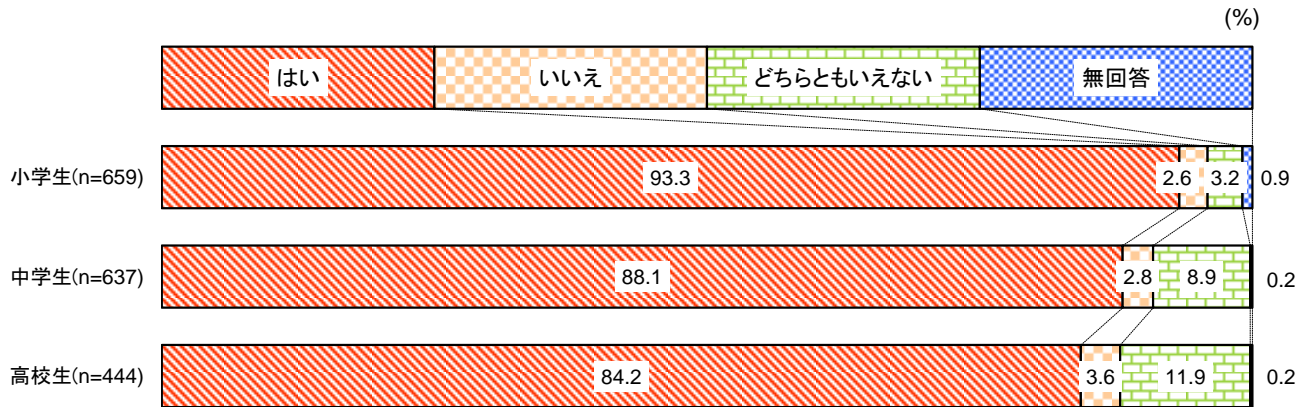
小学生に、父親についておこるとこわいか聞いたところ、「はい」が74.2%と、「いいえ」の15.6%、「どちらともいえない」の9.4%を大きく上回っています。



エ. 母親との会話（小学生、中学生、高校生）

あなたは、お母さんとよく話をしますか。  
 1 はい                      2 いいえ                      3 どちらともいえない

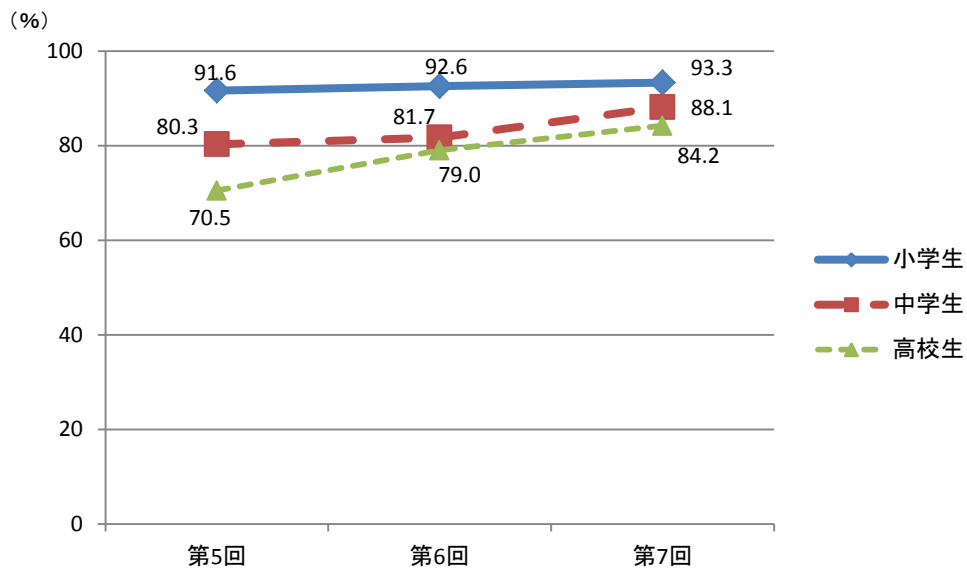
図 4. 2. 15



小学生、中学生、高校生に、母親とよく話をするかについて聞いたところ、小学生の93.3%、中学生の88.1%、高校生の84.2%が「はい」と回答しており、各年代とも「いいえ」「どちらともいえない」を大きく上回っています。

過年度調査との比較

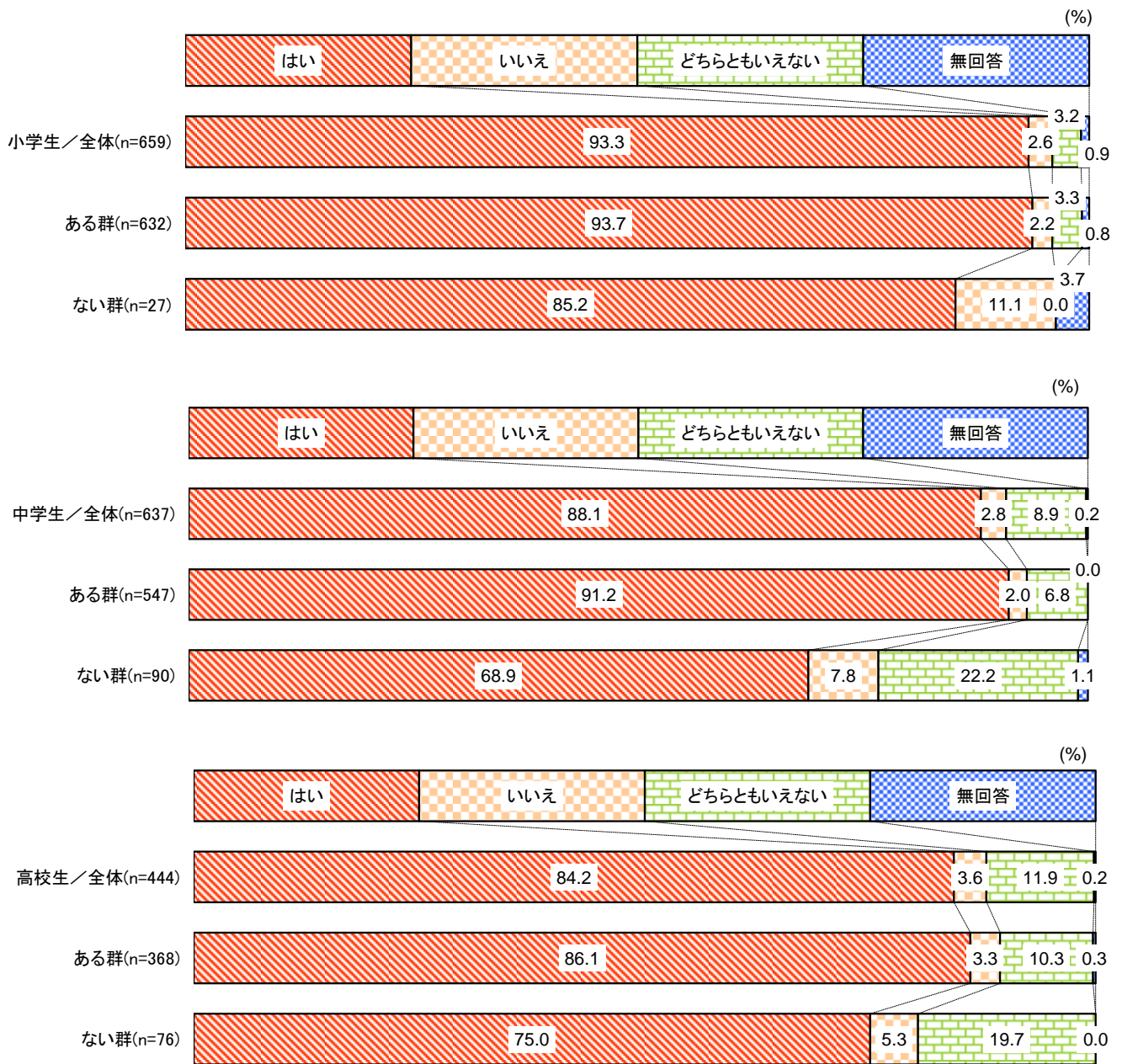
図 4. 2. 16 「はい」



第5回、第6回調査と比較してみると、「はい」の回答割合は、小学生では各回の調査でも90%台前半で推移しており、高水準が保たれています。中学生では、第5回、第6回調査の8割強から、今回調査では88.1%へと増加しています。高校生でも、第5回調査の70.5%、第6回調査の79.0%から増加傾向がみられます。

得意なものや自信のあるものとの関係

図 4. 2. 17



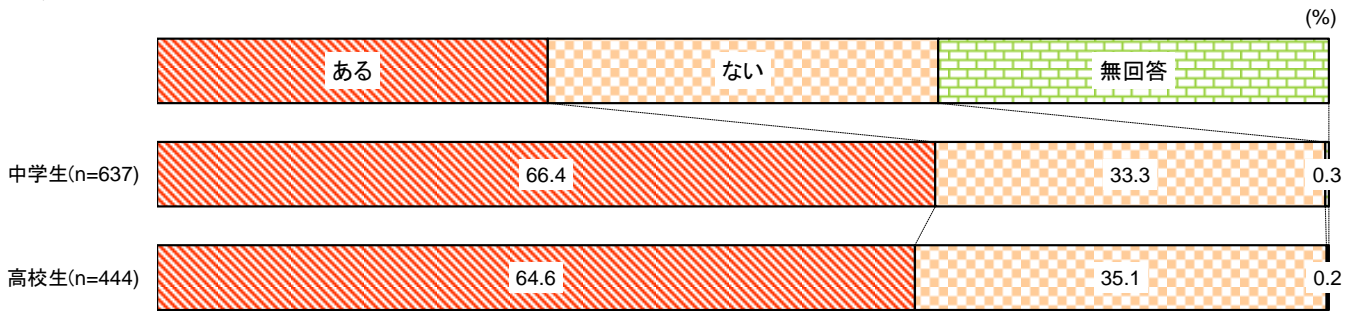
小学生、中学生、高校生の各年代において、「得意なものや自信のあるもの」が「ある群」は、「ない群」よりも「はい」と回答した人の割合が高く、「いいえ」と回答した人の割合が低くなっています。

特に、中学生では「ある群」は「はい」が91.2%に対し、「ない群」は「はい」が68.9%にとどまっています。また、小学生では、「ある群」は「いいえ」が2.2%に対し、「ない群」は、「いいえ」が11.1%となっています。

オ. 母親との共通の話題や趣味（中学生、高校生）

あなたは、お母さんとの間に共通の話題や趣味がありますか。  
 1 ある                      2 ない

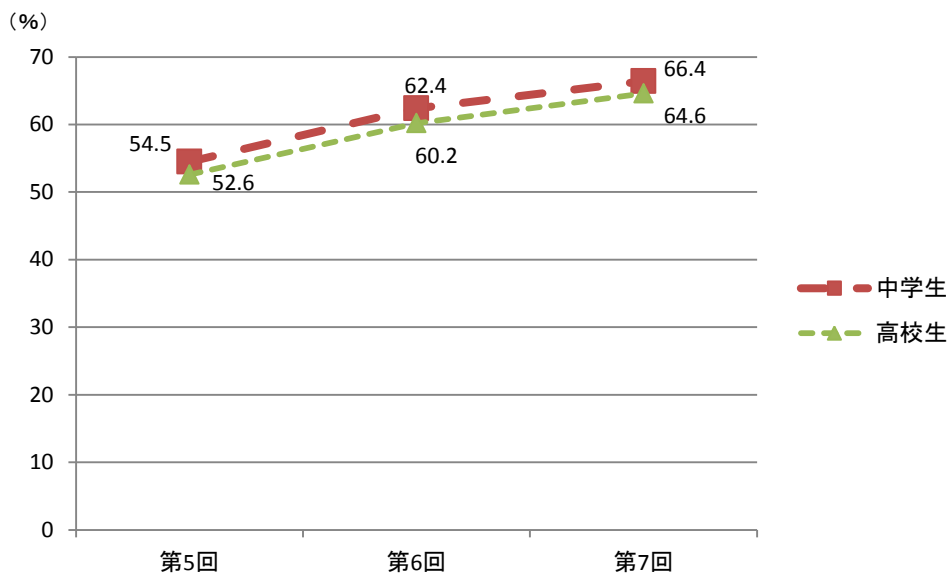
図 4. 2. 18



中学生、高校生に、母親との共通の話題や趣味があるかを聞いたところ、中学生の66.4%、高校生の64.6%が「ある」と回答しています。

過年度調査との比較

図 4. 2. 19 「ある」

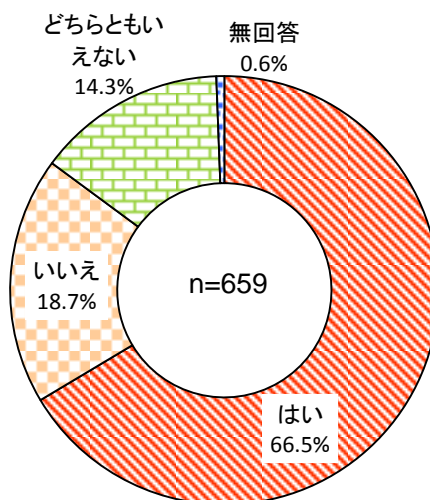


第5回、第6回調査と比較してみると、「ある」の回答割合は中学生、高校生ともに増加傾向がみられており、中学生は第5回調査の54.5%から11.9ポイント、高校生は第5回調査の52.6%から12ポイント増加しています。

カ. 母親について/おこるとこわい (小学生)

おこるとこわい。		
1 はい	2 いいえ	3 どちらともいえない

図 4. 2. 20

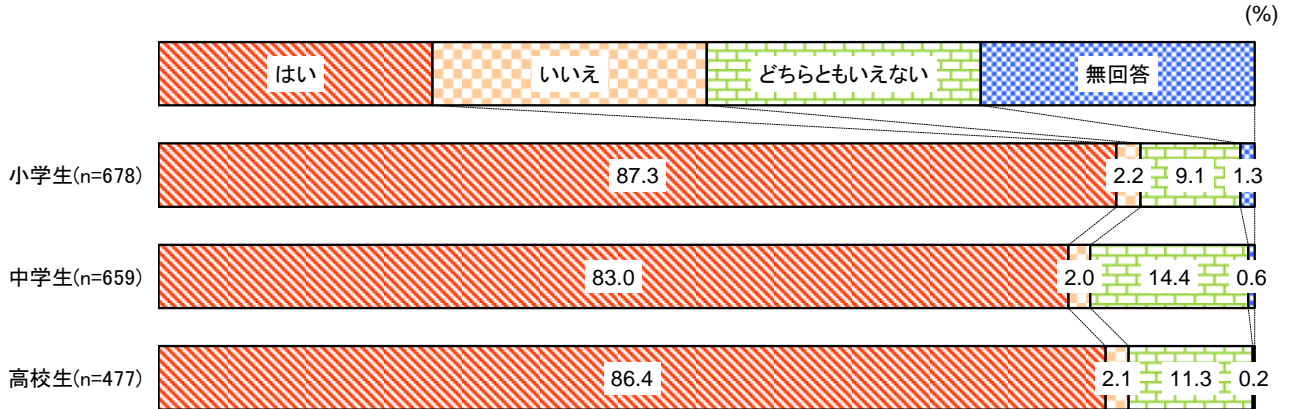


小学生に、母親について、おこるとこわいかを聞いたところ、「はい」が 66.5%と、「いいえ」の 18.7%、「どちらともいえない」の 14.3%を大きく上回っています。

(3) 家族のあなたへの思い (小学生、中学生、高校生)

家族と一緒に住んでいる人はあなたのことを大切に思ってくれていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。  
 1 はい                      2 いいえ                      3 どちらともいえない

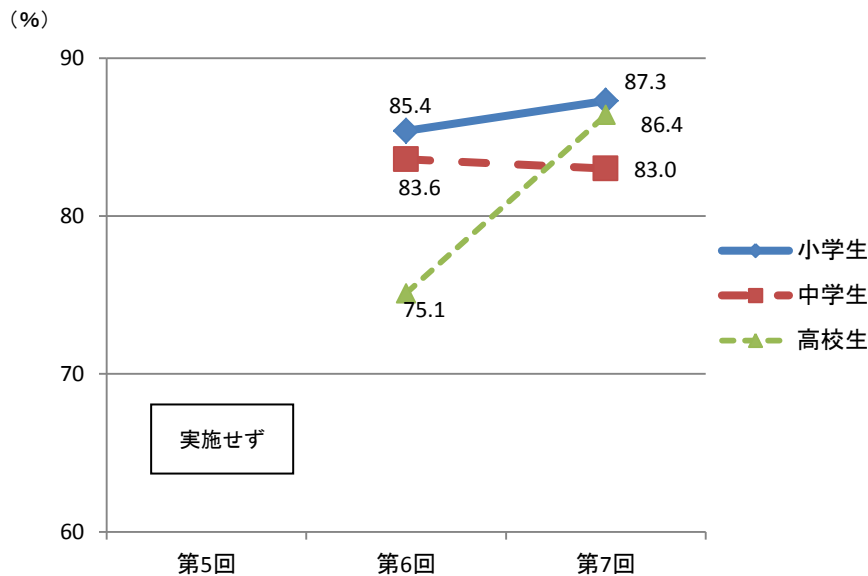
図 4. 2. 2 1



小学生、中学生、高校生に、家族と一緒に住んでいる人に大切に思われているかを聞いたところ、小学生の87.3%、中学生の83.0%、高校生の86.4%が「はい」と回答しており、「いいえ」「どちらともいえない」を大きく上回っています。

過年度調査との比較

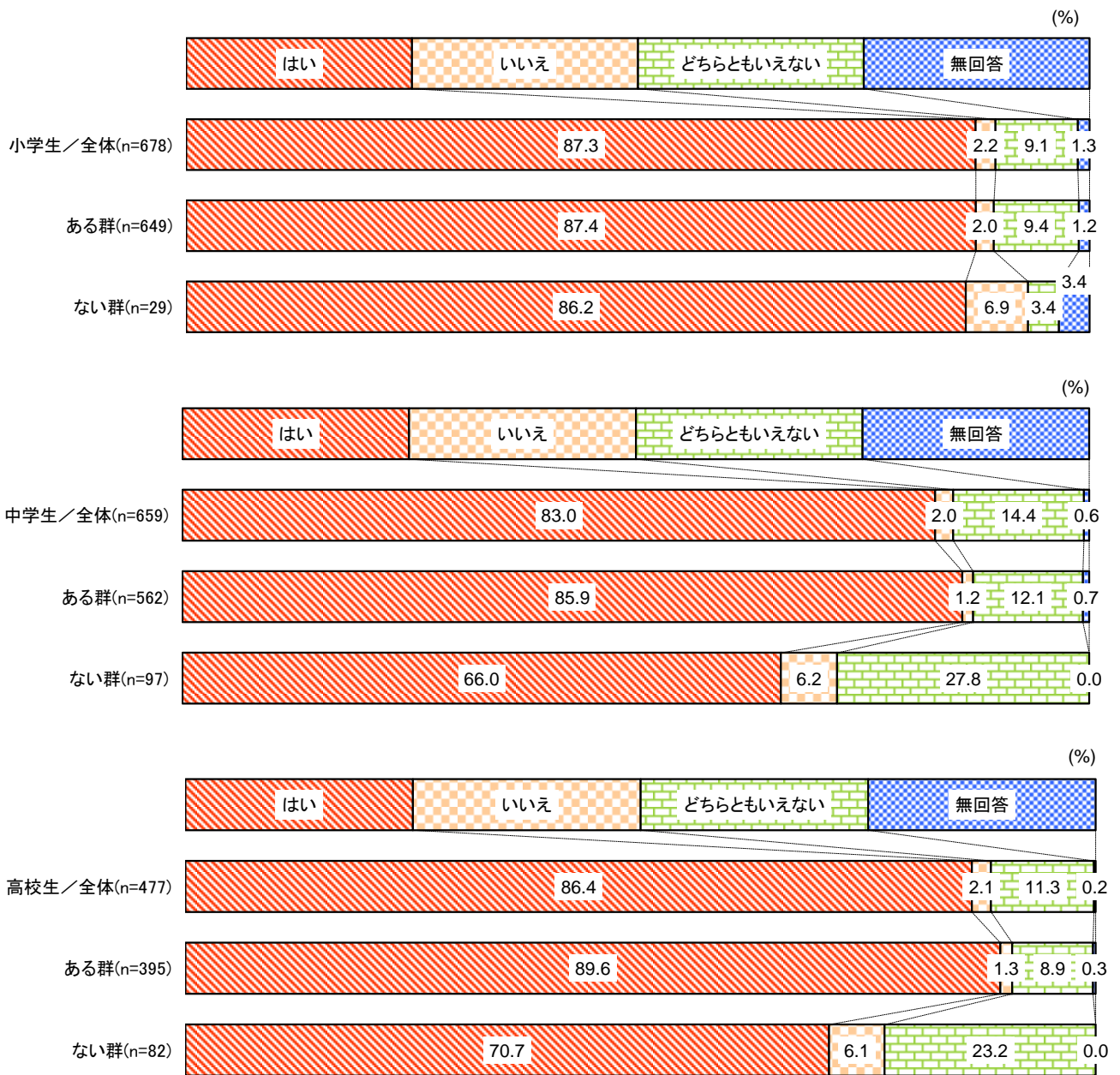
図 4. 2. 2 2 「はい」



第6回調査と比較してみると、「はい」の割合は、小学生では85.4%から87.3%へと微増しており、中学生では83.6%から83.0%へと微減しています。一方、高校生では、75.1%から86.4%へと大きく増加しています。

得意なものや自信のあるものとの関係

図 4. 2. 23



小学生、中学生、高校生の各年代において、「得意なものや自信のあるもの」が、「ある群」は「ない群」よりも「はい」と回答した人の割合が高く、「いいえ」と回答した人の割合が低くなっています。

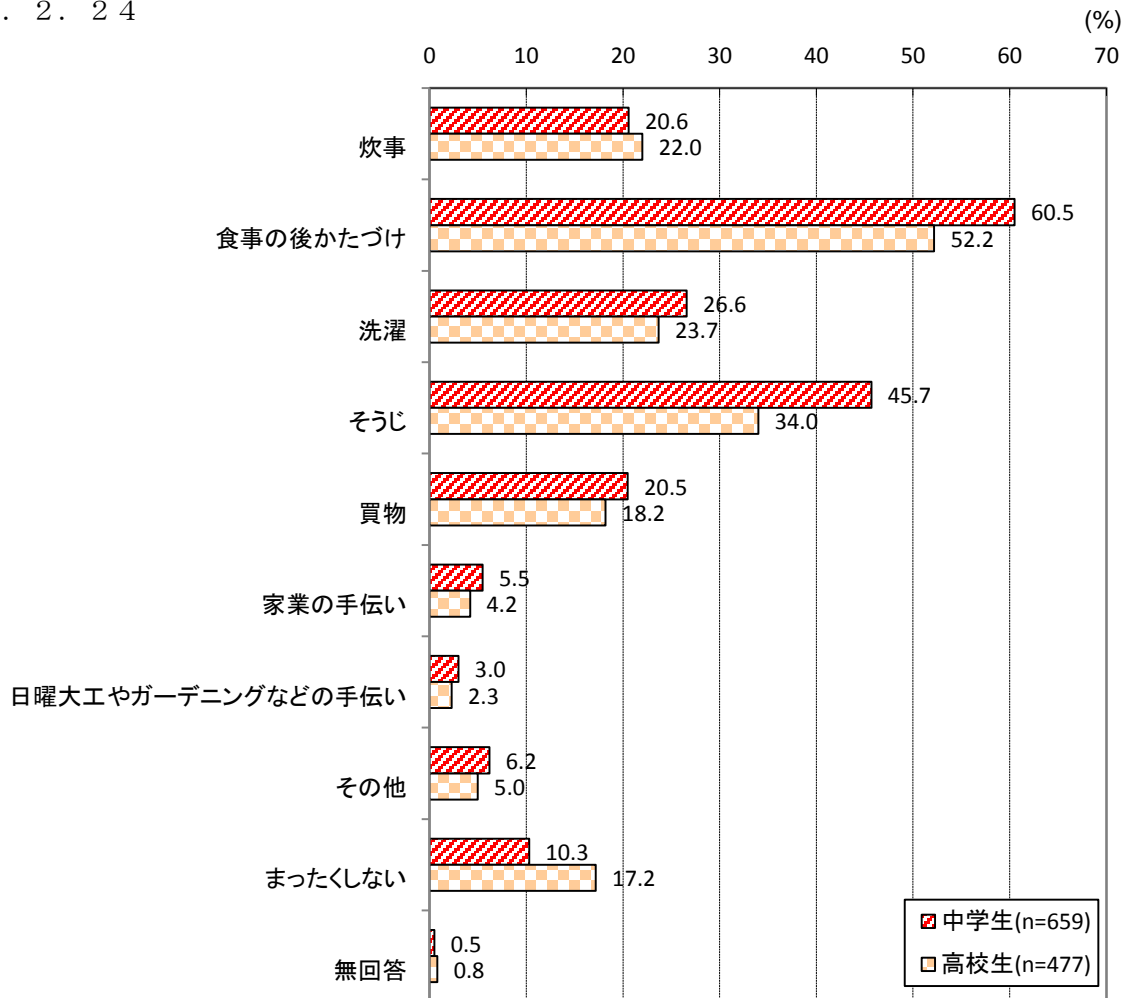
特に、中学生では「ある群」は「はい」が85.9%、「ない群」は「はい」が66.0%と、19.9ポイントの差が表れています。

(4) 家の手伝い (中学生、高校生)

あなたがしている手伝いの主なものを、次の中から3つ以内で選んでください。

1 炊事	2 食事の後かたづけ	3 洗濯
4 そうじ	5 買物	6 家業の手伝い (農作業、店番など)
7 日曜大工やガーデニングなどの手伝い		
8 その他 ( )		
9 まったくしない		

図 4. 2. 2 4



中学生、高校生に、行っている主な家の手伝いを聞いたところ、中学生、高校生ともに「食事の後かたづけ」が最も多く、それぞれ 60.5%、52.2%が回答しています。次いで「そうじ」(中学生：45.7%、高校生：34.0%)、「洗濯」(中学生：26.6%、高校生：23.7%)、「炊事」(中学生：20.6%、高校生：22.0%)、「買物」(中学生：20.5%、高校生：18.2%)と同じ順に続いています。

「まったくしない」の割合が中学生では 10.3%である一方、高校生では 17.2%となっており、「炊事」以外の各項目で、中学生の回答割合が高校生を上回っています。

過年度調査との比較

図 4. 2. 25 「食事の後かたづけ」

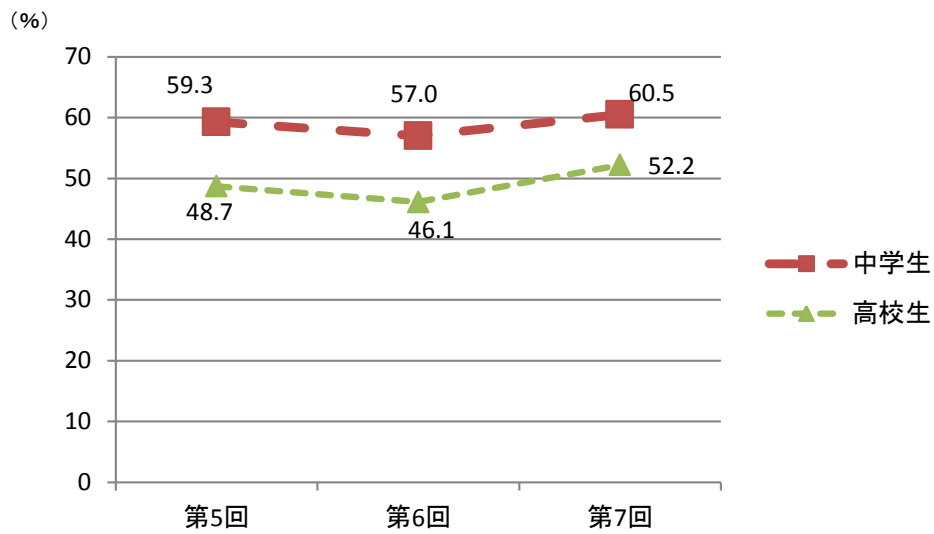


図 4. 2. 26 「そうじ」

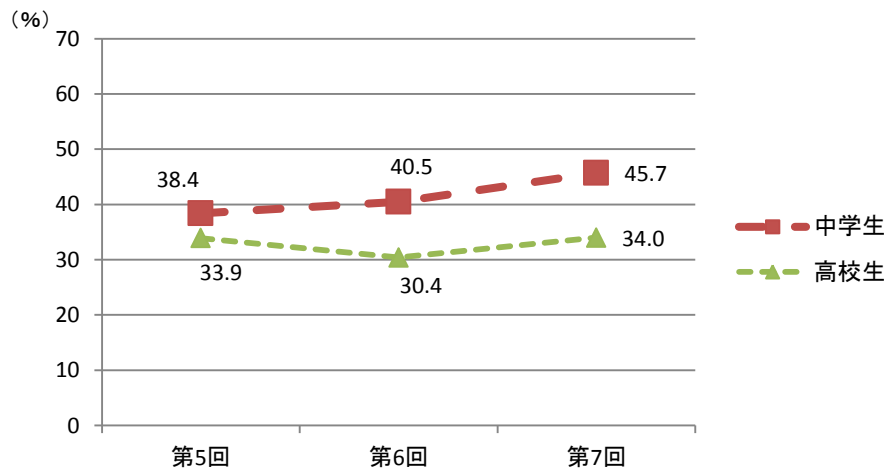
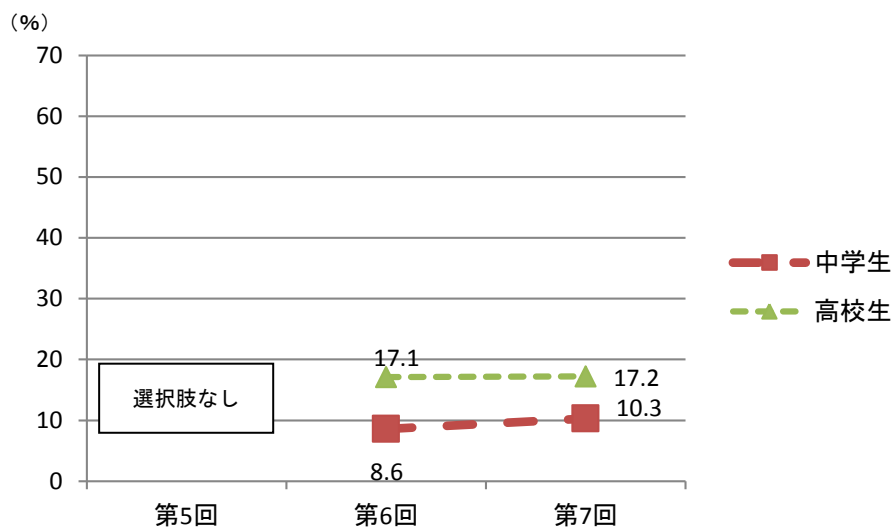


図 4. 2. 27 「まったくしない」



第5回、第6回調査と比較してみると、各項目とも横ばいで推移していますが、増加している項目としては、高校生の「食事の後かたづけ」、中学生の「そうじ」が挙げられます。

また、「まったくしない」は第6回調査から横ばいとなっています。



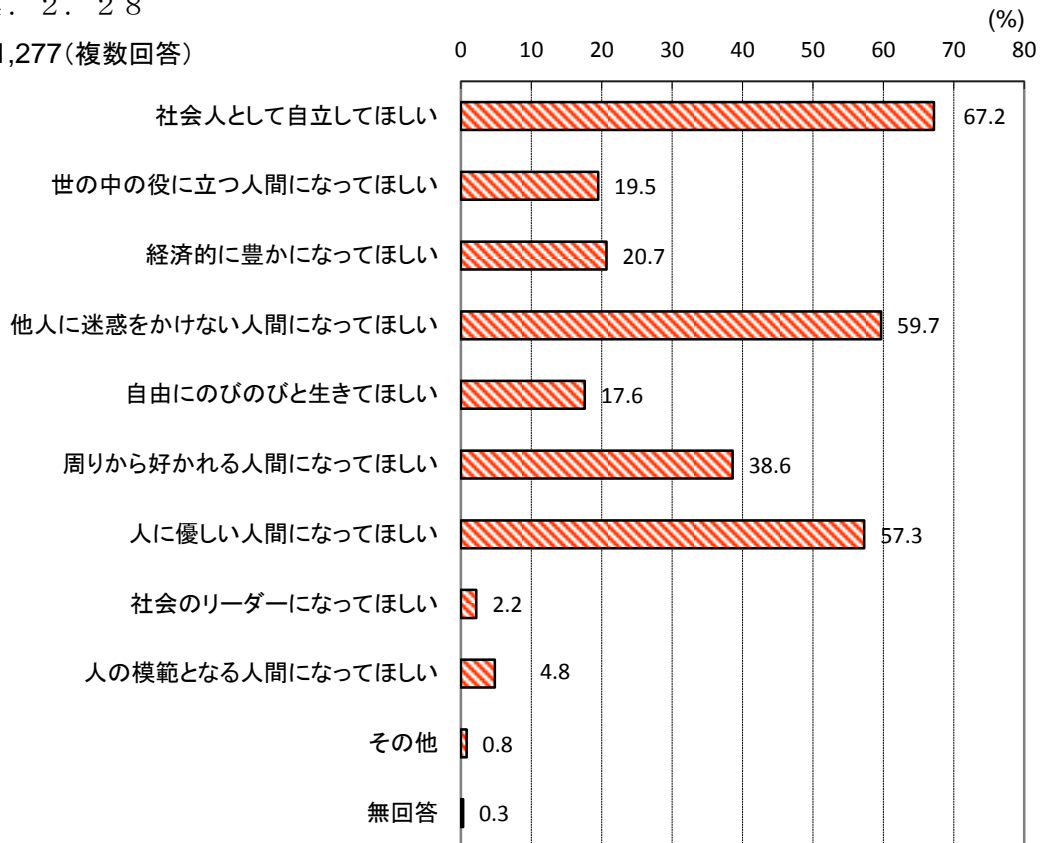
(5) 子どもの将来像 (保護者)

お子さんに将来どのような人間になって (生き方を) してほしいですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1 社会人として自立してほしい	2 世の中の役に立つ人間になってほしい
3 経済的に豊かになってほしい	4 他人に迷惑をかけない人間になってほしい
5 自由にのびのびと生きてほしい	6 周りから好かれる人間になってほしい
7 人に優しい人間になってほしい	8 社会のリーダーになってほしい
9 人の規範となる人間になってほしい	
10 その他 ( )	

図 4. 2. 28

n=1,277(複数回答)



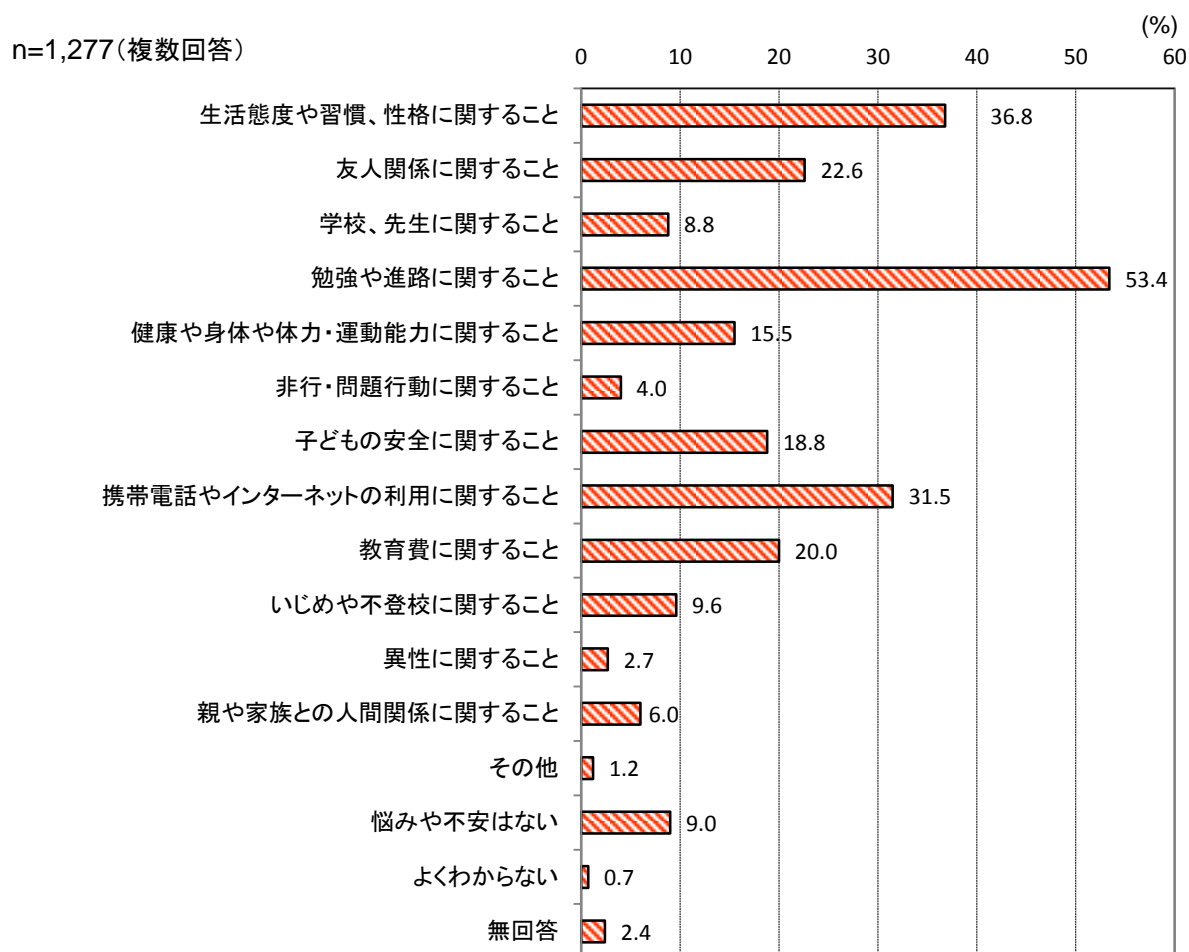
保護者に、子どもの将来像について聞いたところ、「社会人として自立してほしい」が 67.2%で最も多く、次いで「他人に迷惑をかけない人間になってほしい」(59.7%)、「人に優しい人間になってほしい」(57.3%)、「周りから好かれる人間になってほしい」(38.6%)と続いています。

(6) 子どものことでの悩みや不安 (保護者)

お子さんのことで、悩んでいることや不安に思っていることは何ですか。次の中からあてはまるものは全部番号に○をつけてください。

1 生活態度や習慣、性格に関すること	2 友人関係に関すること
3 学校、先生に関すること	4 勉強や進路に関すること
5 健康や身体や体力・運動能力に関すること	6 非行・問題行動に関すること
7 子どもの安全に関すること	8 携帯電話やインターネットの利用に関すること
9 教育費に関すること	10 いじめや不登校に関すること
11 異性に関すること	12 親や家族との人間関係に関すること
13 その他 ( )	
14 悩みや不安はない	15 よくわからない

図 4. 2. 29



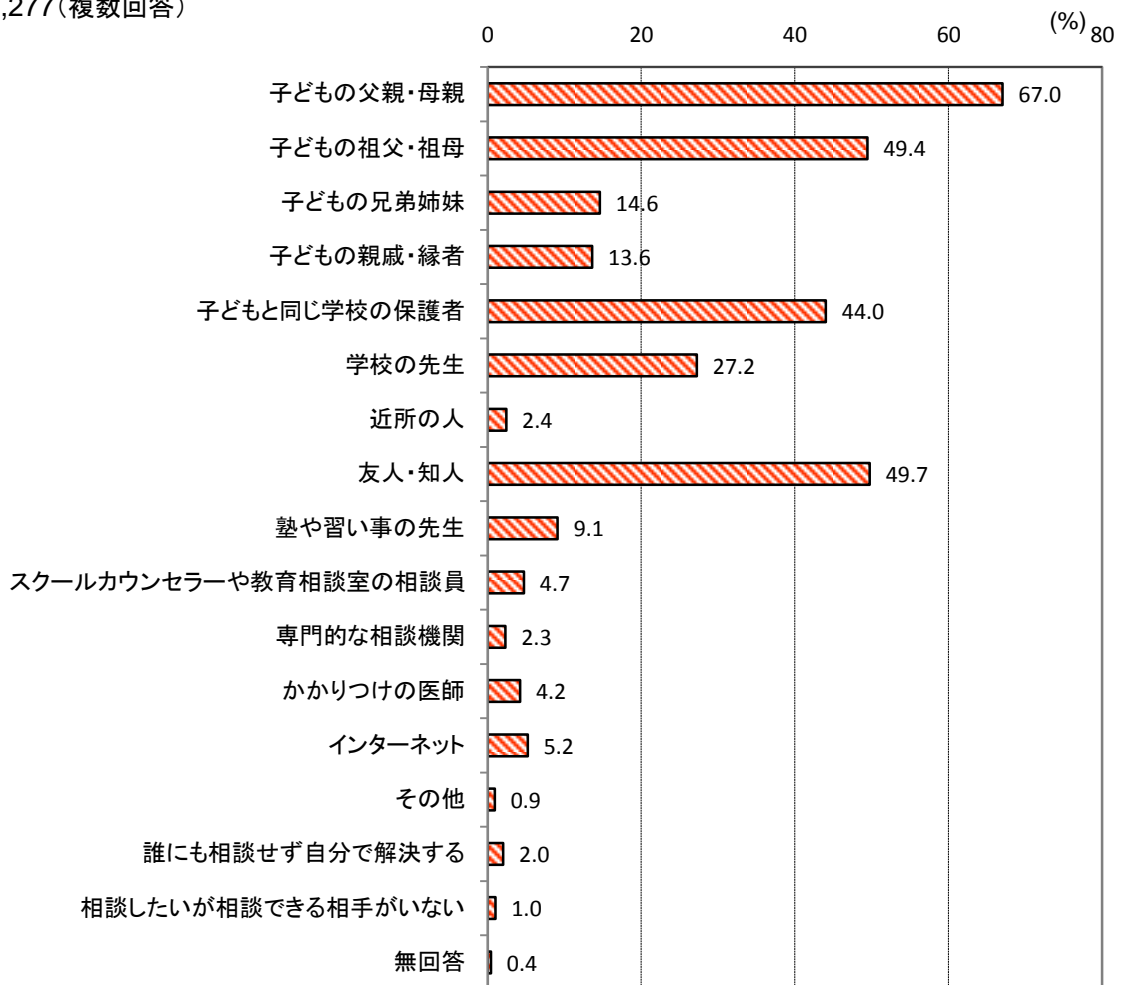
保護者に、子どものことで悩んでいることや不安に思っていることを聞いたところ、「勉強や進路に関すること」が 53.4%で最も多く、次いで「生活態度や習慣、性格に関すること」(36.8%)、「携帯電話やインターネットの利用に関すること」(31.5%)、「友人関係に関すること」(22.6%)「教育費に関すること」(20.0%)と続いています。

(7) 子育てや子どもの教育の相談相手（保護者）

子育てや子どもの教育について困ったときに誰に相談しますか。次の中からあてはまるものは全部番号に○をつけてください。

1 子どもの父親・母親	2 子どもの祖父・祖母	3 子どもの兄弟姉妹
4 子どもの親戚・縁者	5 子どもと同じ学校の保護者	6 学校の先生
7 近所の人	8 友人・知人	9 塾や習い事の先生
10 スクールカウンセラーや教育相談室の相談員	11 専門的な相談機関	
12 かかりつけ医師（小児科・内科等）		
13 インターネット（コミュニティサイトや掲示板等）		
14 その他（		）
15 誰にも相談せず自分で解決する	16 相談したいが相談できる相手がいない	

図 4. 2. 3 0  
n=1,277(複数回答)



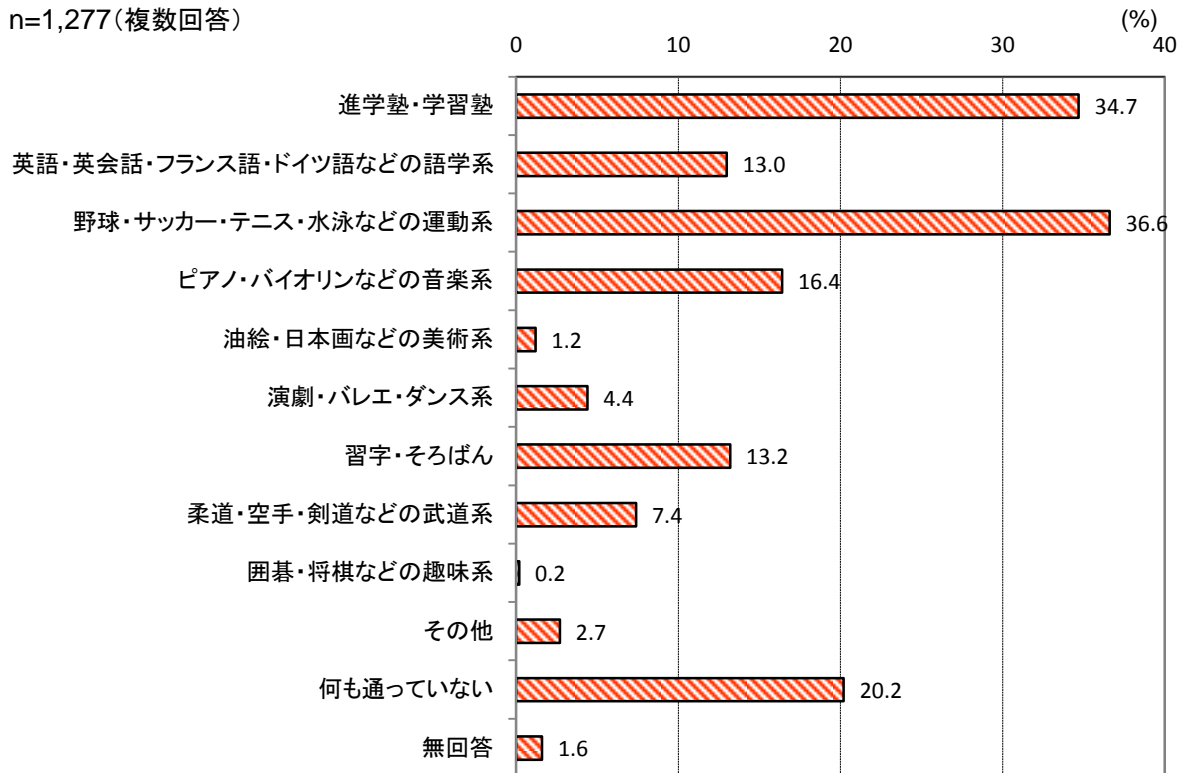
保護者に、子育てや子どもの教育の相談相手について聞いたところ、「子どもの父親・母親」が67.0%で最も多く、次いで「友人・知人」(49.7%)、「子どもの祖父・祖母」(49.4%)、「子どもと同じ学校の保護者」(44.0%)、「学校の先生」(27.2%)と続いています。

(8) 利用している塾やクラブや習い事 (保護者)

お子さんは塾やクラブや習い事に通っていますか。次の中からあてはまるものは全部番号に○をつけてください。

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| 1 進学塾・学習塾              | 2 英語・英会話・フランス語・ドイツ語などの語学系 |
| 3 野球・サッカー・テニス・水泳などの運動系 | 4 ピアノ・バイオリンなどの音楽系         |
| 5 油絵・日本画などの美術系         | 6 演劇・バレエ・ダンス系             |
| 7 習字・そろばん              | 8 柔道・空手・剣道などの武道系          |
| 9 囲碁・将棋などの趣味系          | 10 その他 ( )                |
| 11 何も通っていない            |                           |

図 4. 2. 3 1  
n=1,277(複数回答)



保護者に、子どもが利用しているクラブや習い事について聞いたところ、「野球・サッカー・テニス・水泳などの運動系」が 36.6%と最も多く、次いで「進学塾・学習塾」(34.7%)、「ピアノ・バイオリンなどの音楽系」(16.4%)、「習字・そろばん」(13.2%)「英語・英会話・フランス語・ドイツ語などの語学系」(13.0%)と続いています。

「何も通っていない」は、20.2%が回答しています。

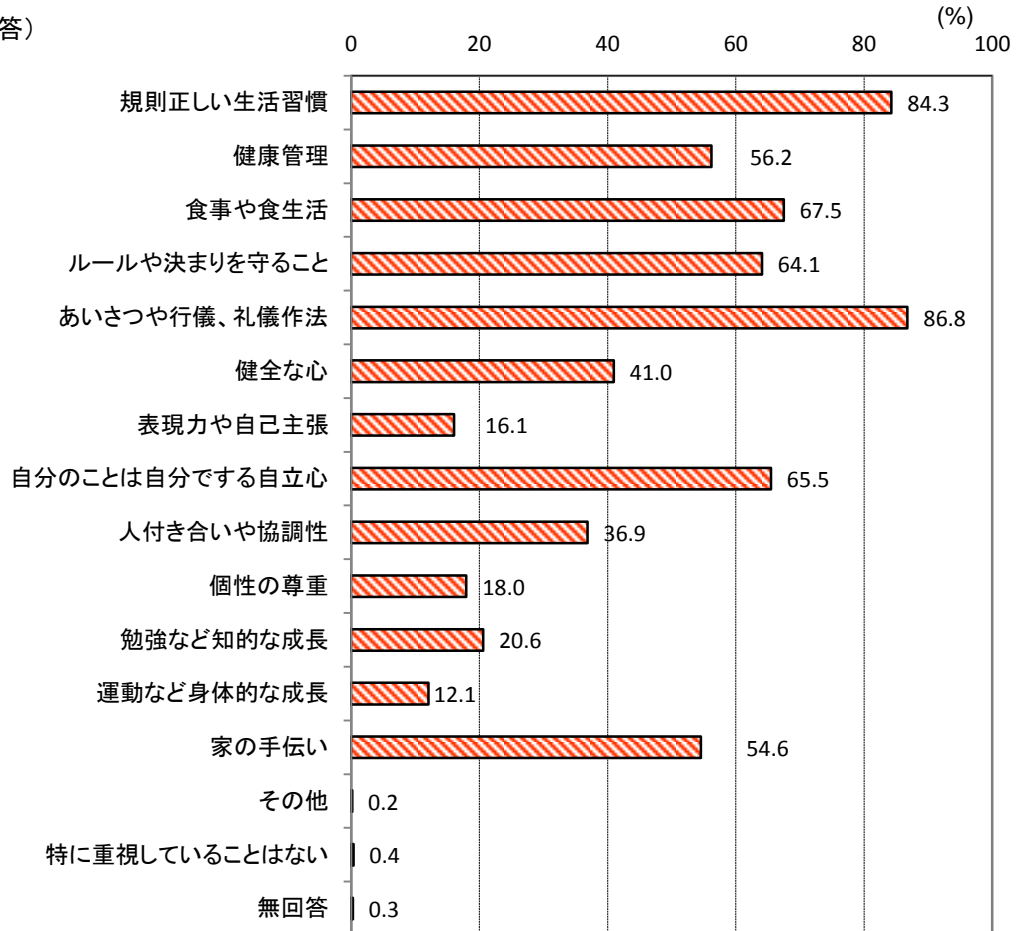
(9) 家庭で身につけるべき重要なこと (保護者)

主に家庭で身につけるべきことで重要なことは何ですか。次の中からあてはまるものは全部番号に○をつけてください。

- |                |                  |                  |
|----------------|------------------|------------------|
| 1 規則正しい生活習慣    | 2 健康管理           | 3 食事や食生活         |
| 4 ルールや決まりを守ること | 5 あいさつや行儀、礼儀作法   | 6 健全な心           |
| 7 表現力や自己主張     | 8 自分のことは自分でする自立心 | 9 人付き合いや協調性      |
| 10 個性の尊重       | 11 勉強など知的な成長     | 12 運動など身体的な成長    |
| 13 家の手伝い       | 14 その他 ( )       | 15 特に重視していることはない |

図 4. 2. 3 2

n=1,277(複数回答)



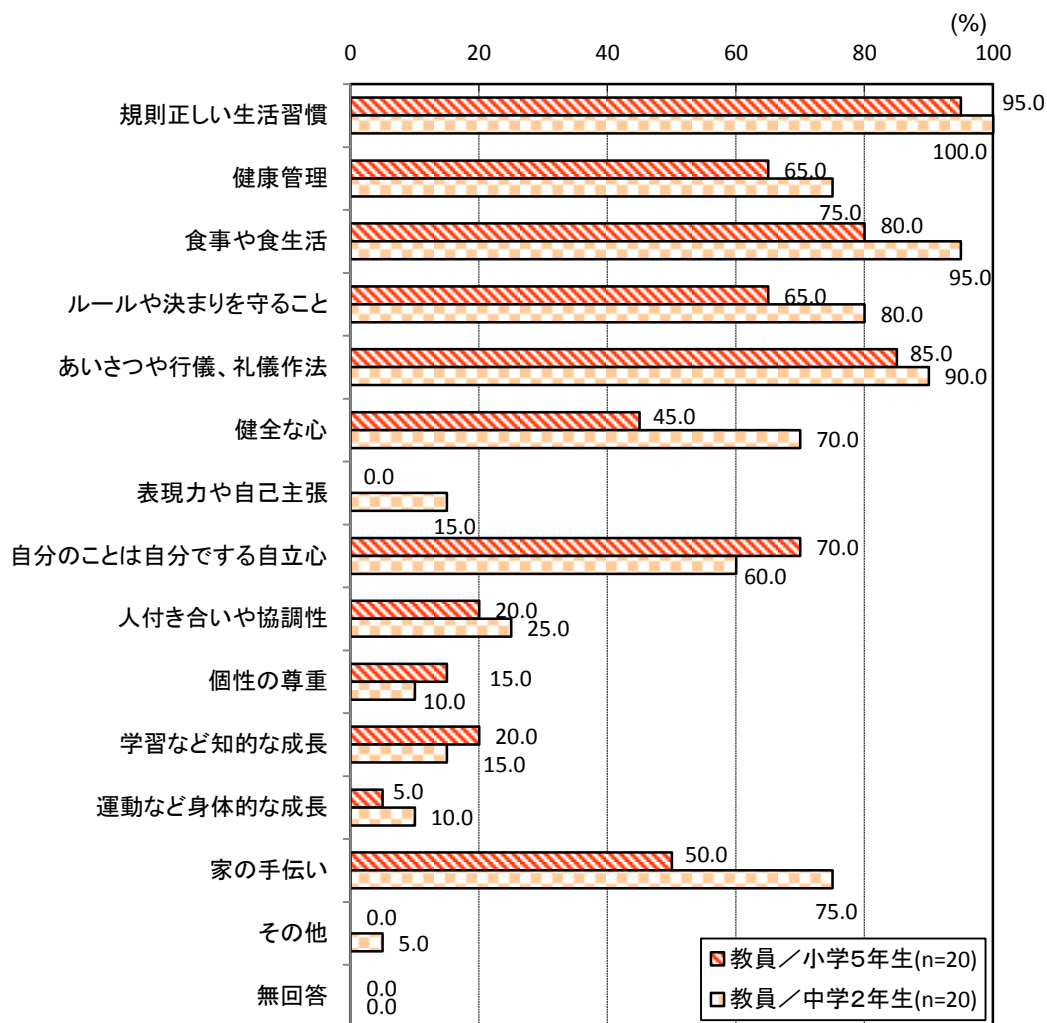
保護者に、子どもが家庭で身につけるべき重要なことについて聞いたところ「あいさつや行儀、礼儀作法」が86.8%で最も多く、次いで「規則正しい生活習慣」(84.3%)、「食事や食生活」(67.5%)、「自分のことは自分でする自立心」(65.5%)、「ルールや決まりを守ること」(64.1%)、「健康管理」(56.2%)、「家の手伝い」(54.6%)と続いています。

■教員の回答との比較（家庭教育により身につけるべきこと）

児童生徒が家庭教育により身につけるべきだと思うことは何ですか。次の中からあてはまるものは全部番号に○をつけてください。

1 規則正しい生活習慣	2 健康管理	3 食事や食生活
4 ルールや決まりを守ること	5 あいさつや行儀、礼儀作法	6 健全な心
7 表現力や自己主張	8 自分のことは自分でする自立心	9 人付き合いや協調性
10 個性の尊重	11 学習など知的な成長	12 運動など身体的な成長
13 家の手伝い	14 その他（ ）	

図 4. 2. 3 3



教員に、児童生徒が家庭教育により身につけるべきことを聞いたところ、小学校、中学校の教員ともに「規則正しい生活習慣」がそれぞれ 95.0%、100.0%と、回答者のほぼ全員が挙げています。次いで、小学校の教員では「あいさつや行儀、礼儀作法」（85.0%）、「食事や食生活」（80.0%）、「自分のことは自分でする自立心」（70.0%）、「ルールや決まりを守ること」（65.0%）と続いています。

中学校の教員では、「食事や食生活」（95.0%）、「あいさつや行儀、礼儀作法」（90.0%）、「健康管理」「家の手伝い」（いずれも 75.0%）と続いています。

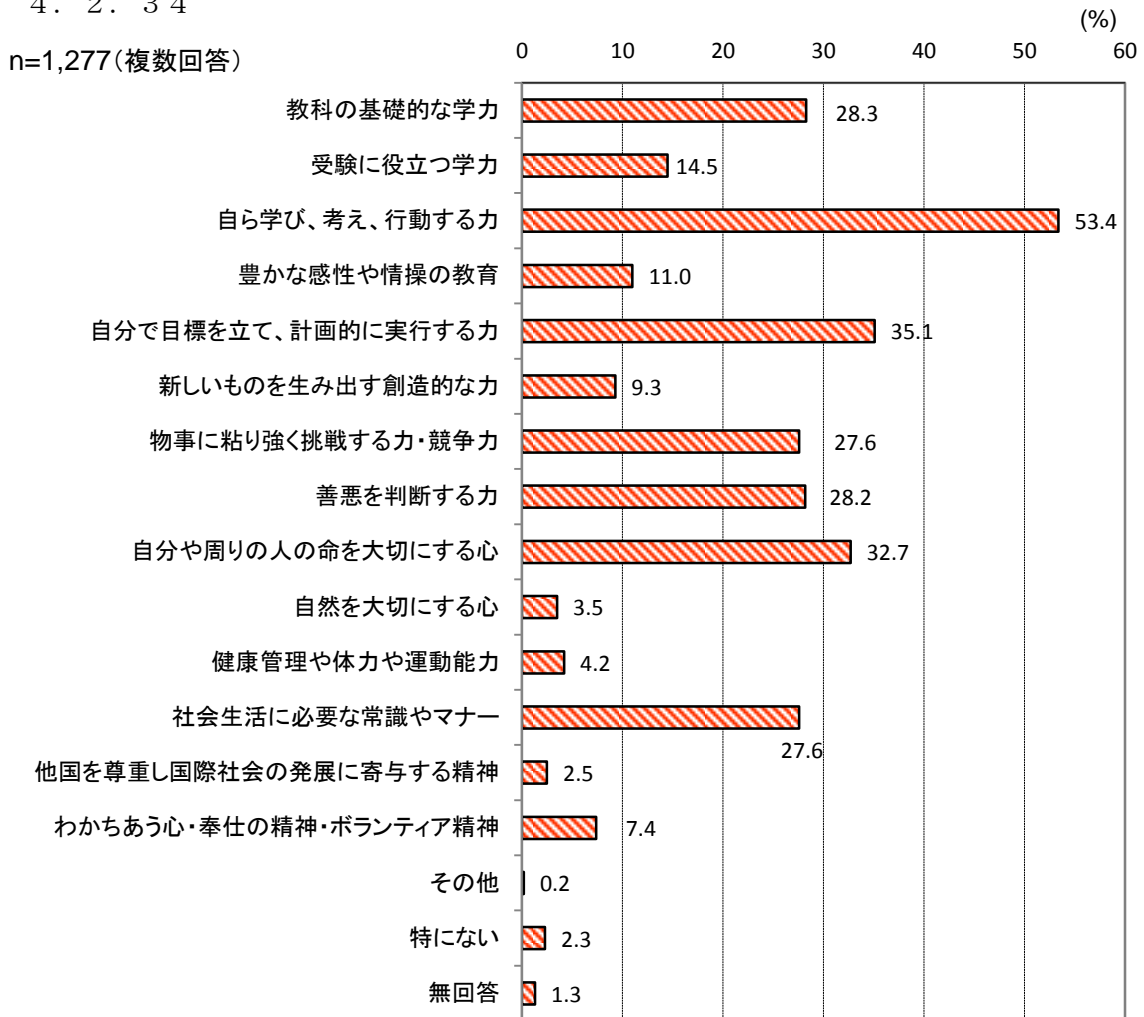
「健全な心」は小学校の教員では 45.0%に対し、中学校の教員では 70.0%、「家の手伝い」は小学校の教員では 50.0%に対し、中学校の教員では 75.0%と、やや開きが見られます。

(10) 教育事情に関する諸課題（保護者）

最近の教育事情に関する諸課題について、関心をお持ちのものを次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- |                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 教科の基礎的な学力             | 2 受験に役立つ学力               |
| 3 自ら学び、考え、行動する力         | 4 豊かな感性や情操の教育            |
| 5 自分で目標を立て、計画的に実行する力    | 6 新しいものを生み出す創造的な力        |
| 7 物事に粘り強く挑戦する力・競争力      | 8 善悪を判断する力               |
| 9 自分や周りの人の命を大切にする心      | 10 自然を大切にする心             |
| 11 健康管理や体力や運動能力         | 12 社会生活に必要な常識やマナー        |
| 13 他国を尊重し国際社会の発展に寄与する精神 | 14 わかちあう心・奉仕の精神・ボランティア精神 |
| 15 その他（                 | ）                        |
| 16 特にない                 |                          |

図 4. 2. 3 4



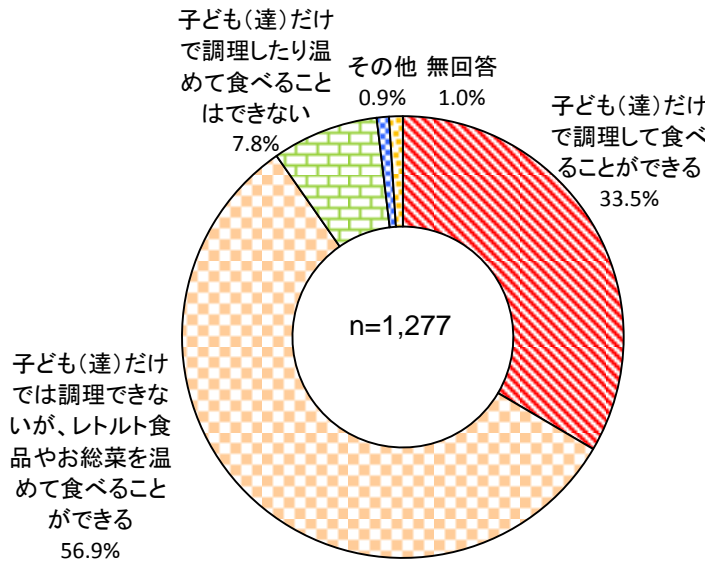
保護者に、教育事情に関する諸課題について関心があることを聞いたところ、「自ら学び、考え、行動する力」が 53.4%と最も多く、次いで「自分で目標を立て、計画的に実行する力」(35.1%)、「自分や周りの人の命を大切にする心」(32.7%)、「教科の基礎的な学力」(28.3%)、「善悪を判断する力」(28.2%)、「物事に粘り強く挑戦する力・競争力」「社会生活に必要な常識やマナー」(いずれも 27.6%)と続いています。

(11) 子ども（達）だけでの食事のしたく（保護者）

お子さんはあなたや同居の大人が不在の時、食事を自分で作ることはできますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 子ども（達）だけで調理して食べることができる
- 2 子ども（達）だけでは調理できないが、レトルト食品やお総菜を温めて食べることができる
- 3 子ども（達）だけで調理したり温めて食べることはできない
- 4 その他

図 4. 2. 3 5



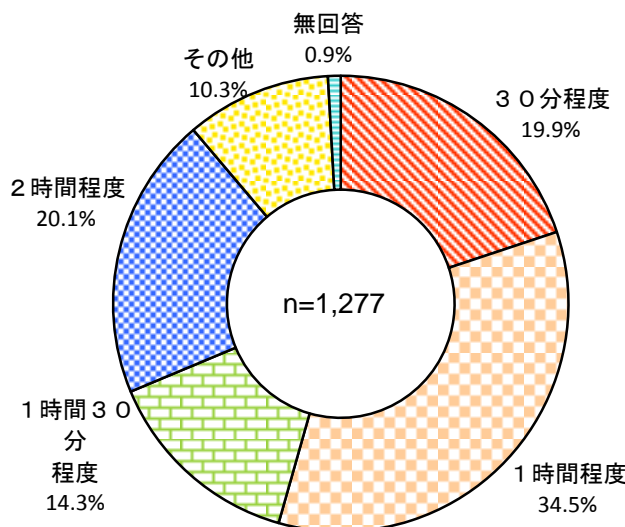
保護者に、子どもだけで食事のしたくができるかを聞いたところ、「子ども（達）だけでは調理できないが、レトルト食品やお総菜を温めて食べることができる」が 56.9%、「子ども（達）だけで調理して食べることができる」が 33.5%と、計 90.4%が子どもだけで食事のしたくができるとしています。

(12) 子どもとの会話時間（保護者）

お子さんはあなたと1日の中でどのくらい会話をしていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 30分程度
- 2 1時間程度
- 3 1時間30分程度
- 4 2時間程度
- 5 その他

図 4. 2. 3 6



保護者に、1日の子どもとの会話時間を聞いたところ、「1時間程度」が 34.5%と最も多く、次いで「2時間程度」が 20.1%、「30分程度」が 19.9%、「1時間30分程度」が 14.3%となっています。

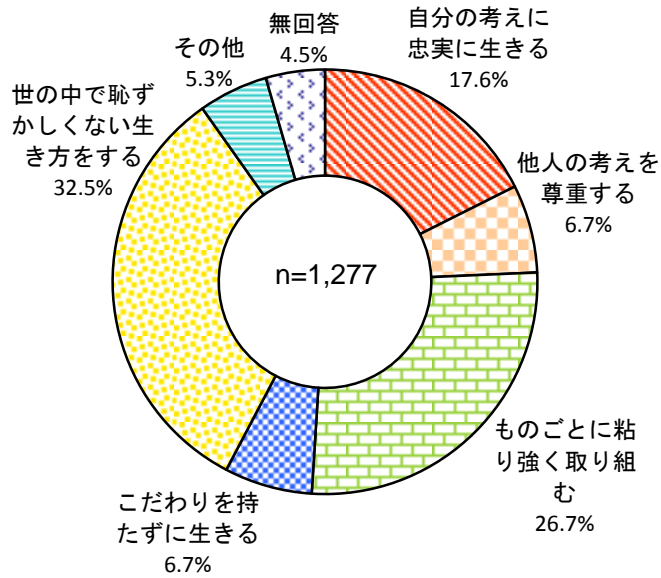


(13) 生きていく上で最も大切に考えていること（保護者）

次の中からあなたが生きていく上で、最も大切に考えていることを1つ選んでください。

1 自分の考えに忠実に生きる	2 他人の考えを尊重する
3 ものごとに粘り強く取り組む	4 こだわりを持たずに生きる
5 世の中で恥ずかしくない生き方をする	6 その他（ ）

図 4. 2. 3 7



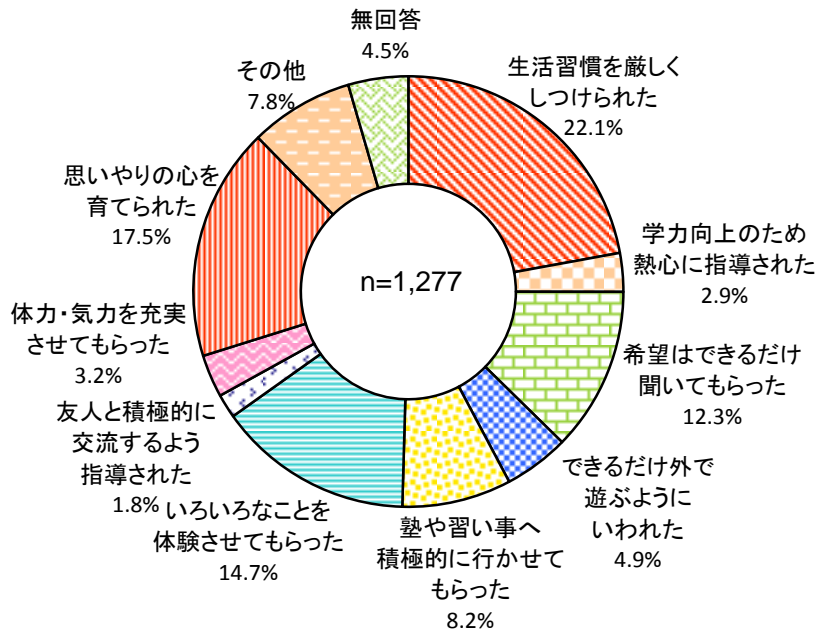
保護者に、生きていく上で最も大切に考えていることを聞いたところ、「世の中で恥ずかしくない生き方をする」が 32.5%で最も多く、次いで「ものごとに粘り強く取り組む」(26.7%)、「自分の考えに忠実に生きる」(17.6%)、「他人の考えを尊重する」、「こだわりを持たずに生きる」(いずれも 6.7%)と続いています。

(14) 子どもの頃どのように育てられたか（保護者）

あなたは子どもの頃、どのように育てられましたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 生活習慣を厳しくしつけられた	2 学力向上のため熱心に指導された
3 希望はできるだけ聞いてもらった	4 できるだけ外で遊ぶようにいわれた
5 塾や習い事へ積極的に行かせてもらった	6 いろいろなことを体験させてもらった
7 友人と積極的に交流するよう指導された	8 体力・気力を充実させてもらった
9 思いやりの心を育てられた	10 その他（ ）

図 4. 2. 38



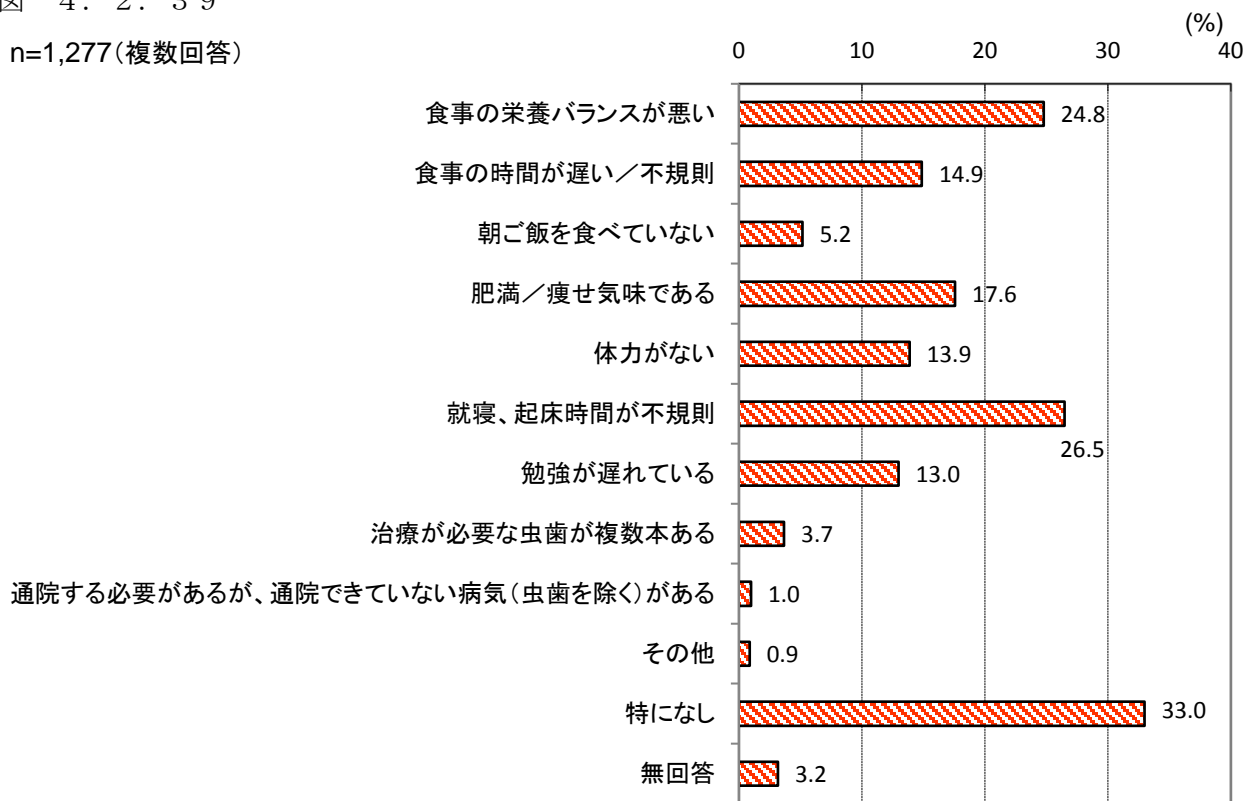
保護者に、子どもの頃にどのように育てられたかを聞いたところ、「生活習慣を厳しくしつけられた」が 22.1%で最も多く、次いで「思いやりの心を育てられた」(17.5%)、「いろいろなことを体験させてもらった」(14.7%)、「希望はできるだけ聞いてもらった」(12.3%)、「塾や習い事へ積極的に行かせてもらった」(8.2%)と続いています。

(15) 子どもの食事や生活の習慣（保護者）

お子さんの食事や生活であてはまることはありますか。あてはまるものを全部選んで番号に○をつけてください。

1 食事の栄養バランスが悪い	2 食事の時間が遅い／不規則
3 朝ご飯を食べていない	4 肥満／痩せ気味である
5 体力がない	6 就寝、起床時間が不規則
7 勉強が遅れている	8 治療が必要な虫歯が複数本ある
9 通院する必要があるが、通院できていない病気（虫歯を除く）がある	
10 その他（	）
11 特になし	

図 4. 2. 3 9  
n=1,277(複数回答)



保護者に、子どもの食事や生活の習慣について聞いたところ、「就寝、起床時間が不規則」が 26.5% と最も多く、次いで「食事の栄養バランスが悪い」(24.8%)、「肥満／痩せ気味である」(17.6%)、「食事の時間が遅い／不規則」(14.9%)、「体力がない」(13.9%)、「勉強が遅れている」(13.0%) と続いています。

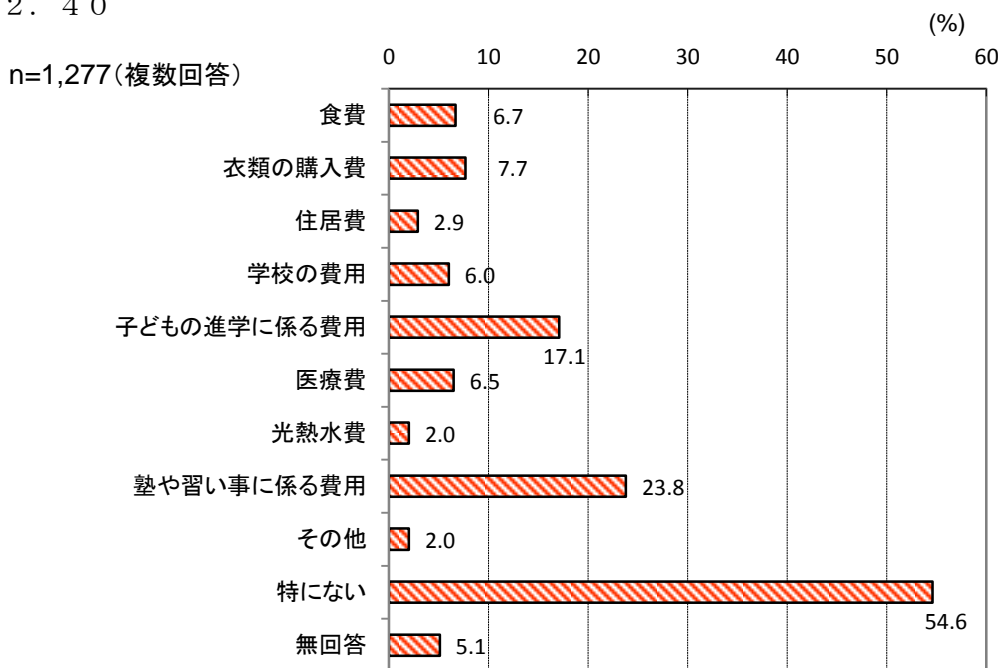
各選択肢にいずれも該当しない「特になし」については、33.0%が回答しています。

(16) 経済的に困ったことや悩んだこと (保護者)

最近1年間に、経済的に困ったことや悩んだことはありますか。悩みが大きかったものを次の中から4つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 食費 (家族全員が食べられるだけの食料が購入できなかった等)
- 2 衣類の購入費 (必要な衣類を購入できなかった等)
- 3 住居費 (家賃が払えなかった等)
- 4 学校の費用 (学用品、給食費、部活動等に係る費用を払えなかった等)
- 5 子どもの進学に係る費用
- 6 医療費 (お金がかかるので、医者に行くのをやめた、迷った等)
- 7 光熱水費 (支払いができず止められてしまった等)
- 8 塾や習い事に係る費用
- 9 その他 ( )
- 10 特にない

図 4. 2. 40



保護者に、最近1年間に経済的に困ったことや悩んだことを聞いたところ、半分以上の54.6%が「特にない」と回答しています。

困ったことや悩んだこととして多く挙げられたものは、「塾や習い事に係る費用」(23.8%)、「子どもの進学に係る費用」(17.1%)、「衣類の購入費」(7.7%)となっています。